

3 費目別指数の動き

費目別に前年からの動きをみると次のとおりである。

食 料

令和2年平均は105.1となり、令和元年平均に比べ(+) 1.1% の上昇となった。

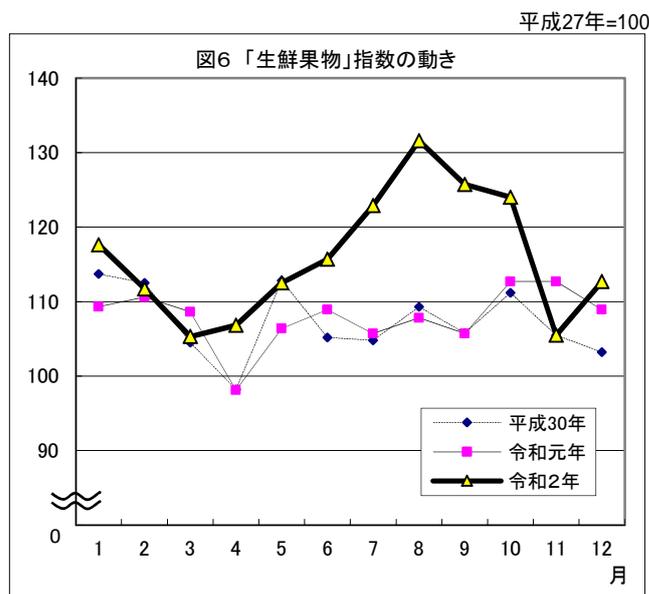
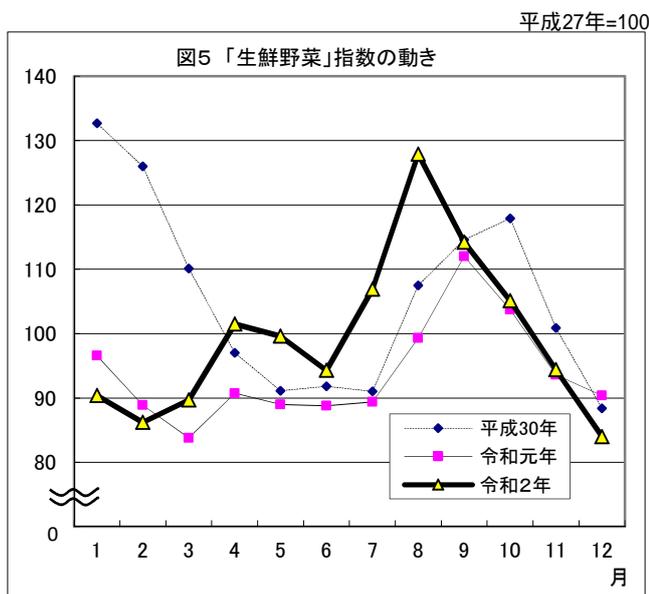
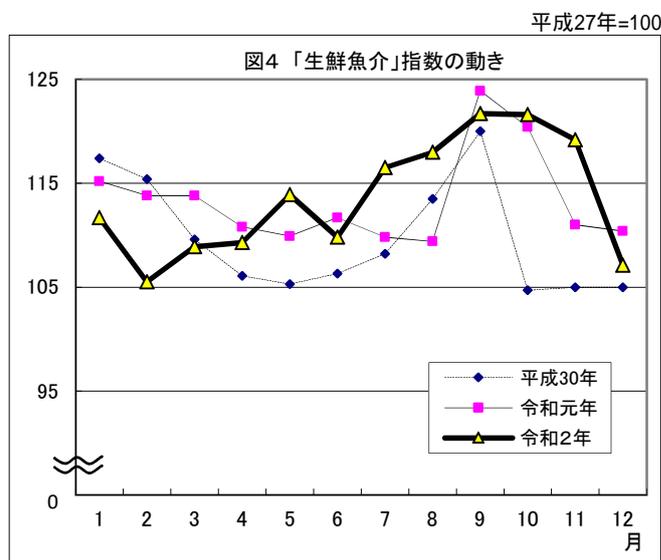
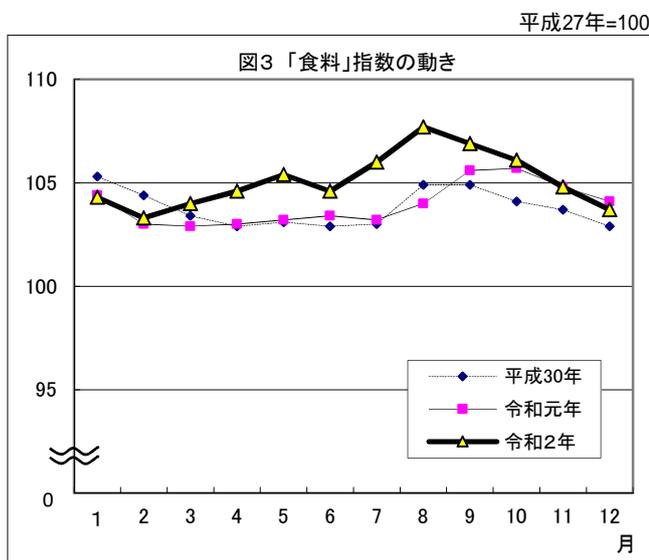
内訳をみると、乳卵類は変わらず。

果物(+) 6.7% 、野菜・海藻(+) 3.2% 、肉類(+) 1.5% 、外食(+) 1.4% 、穀類(+) 1.0% 、酒類(+) 0.8% 、調理食品(+) 0.8% 、菓子類(+) 0.8% とそれぞれ上昇した。

一方、飲料(-) 1.7% 、油脂・調味料(-) 0.5% 、魚介類(-) 0.2% とそれぞれ下落した。

生鮮食品についてみると、生鮮野菜(+) 6.0% 、生鮮果物(+) 7.4% 、生鮮魚介(+) 0.2% となり、生鮮食品全体では(+) 4.1% の上昇となった。

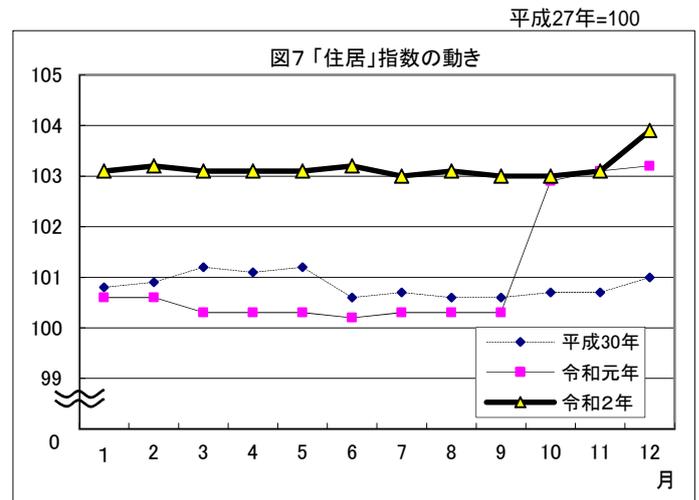
なお、月々の動きはグラフのとおり。(以下同じ)



住居

令和2年平均は103.2となり、令和元年平均に比べ(+) 2.1% の上昇となった。

内訳をみると、設備修繕・維持は(+) 10.3% 、家賃は(+) 0.3% の上昇となった。

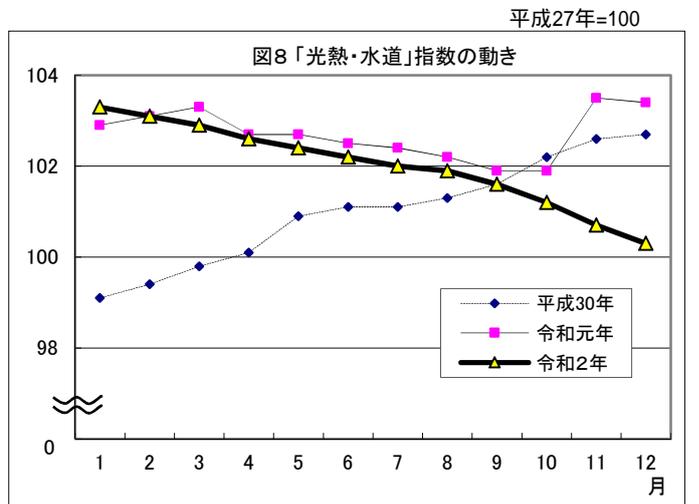


光熱・水道

令和2年平均は102.0となり、令和元年平均に比べ(-) 0.7% の下落となった。

内訳をみると他の光熱は(-) 9.2% 、電気代は(-) 1.6% の下落となった。

一方、上下水道料は(+) 1.5% 、ガス代は(+) 0.6% の上昇となった。

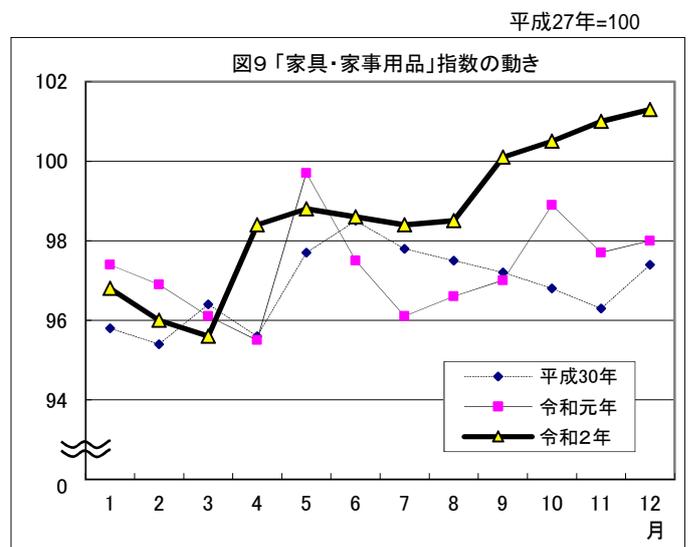


家具・家事用品

令和2年平均は98.7となり、令和元年平均に比べ(+) 1.4% の上昇となった。

内訳をみると、家事用消耗品は(+) 3.9% 、家事雑貨は(+) 2.1% 、家事サービスは(+) 1.4% 、室内装備品は(+) 0.5% 、家庭用耐久財は(+) 0.2% の上昇となった。

一方、寝具類は(-) 2.6% の下落となった。



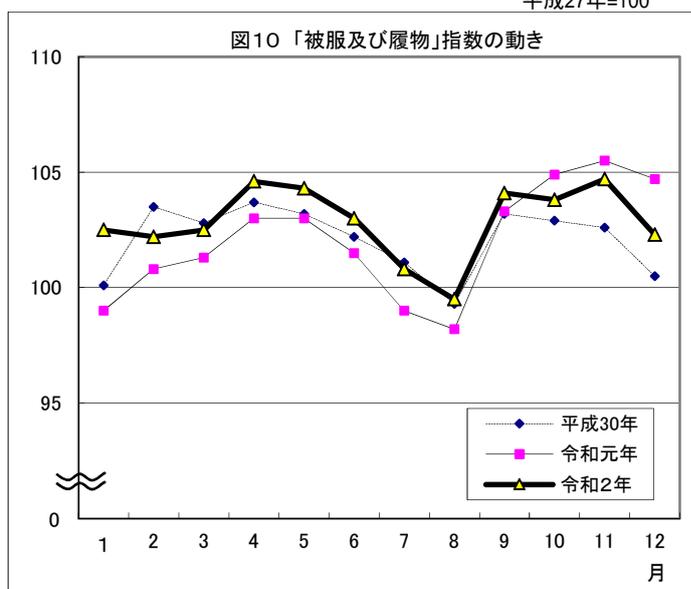
平成27年=100

被服及び履物

令和2年平均は102.9となり、令和元年平均に比べ(+) 0.8% の上昇となった。

内訳をみると、被服関連サービスは(+) 3.3% 、シャツ・セーター類は(+) 2.4% 、和服は(+) 2.1% 、下着類は(+) 1.7% 、他の被服は(+) 0.9% 、履物類は(+) 0.2% の上昇となった。

一方、洋服は(-) 0.3% の下落となった。



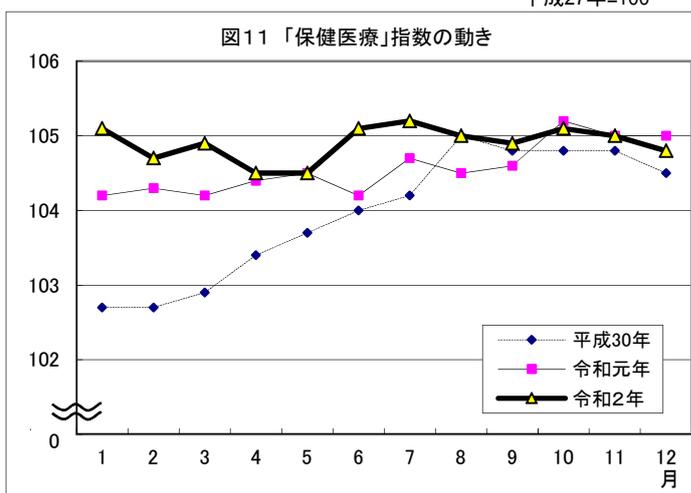
平成27年=100

保健医療

令和2年平均は104.9となり、令和元年平均に比べ(+) 0.3% の上昇となった。

内訳をみると、保健医療用品・器具は(+) 1.9% 、医薬品・健康保持用摂取品は(+) 0.4% の上昇となった。

一方、保健医療サービスは(-) 0.2% の下落となった。



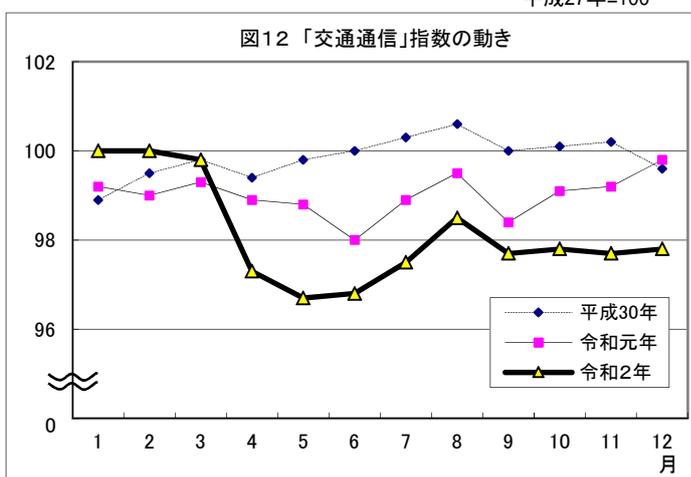
平成27年=100

交通・通信

令和2年平均は98.1となり、令和元年平均に比べ(-) 0.9% の下落となった。

内訳をみると、自動車等関係費は(-) 2.0% の下落となった。

一方、交通は(+) 2.3% 、通信は(+) 0.2% の上昇となった。

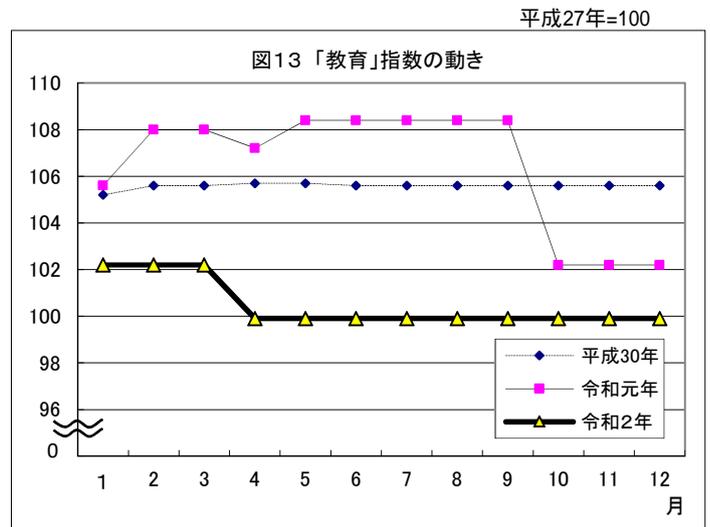


教 育

令和2年平均は100.4となり、令和元年平均に比べ(-)5.7%の下落となった。

内訳をみると、授業料等は(-)11.5%の下落となった。

一方、補習教育(+1.4%、教科書・学習参考教材(+1.3%の上昇となった。

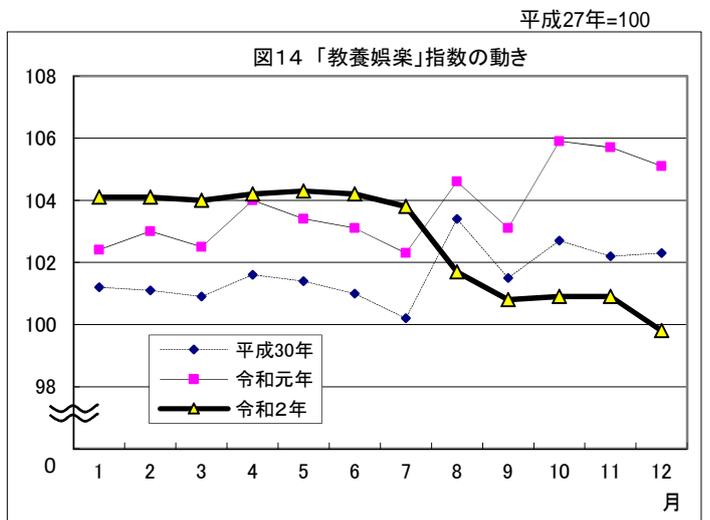


教 養 娯 楽

令和2年平均は102.7となり、令和元年平均に比べ(-)1.0%の下落となった。

内訳をみると、教養娯楽用耐久財は(-)3.1%、教養娯楽サービスは(-)2.4%の下落となった。

一方、書籍・他の印刷物は(+2.4%、教養娯楽用品は(+0.8%の上昇となった。



諸 雑 費

令和2年平均は98.2となり、令和元年平均に比べ(-)2.9%の下落となった。

内訳をみると、他の諸雑費は(-)12.5%の下落となった。

一方、たばこは(+3.7%、理美容サービスは(+2.8%、理美容用品は(+1.5%、身の回り用品は(+0.5%の上昇となった。

